

発 言 通 告 書

発言者氏名	小林伸行
発言の会議	令和2年 9月16日 本会議
発言の種類	質 疑、 <u>一般質問</u> 、緊急質問、討 論、その他
質疑等の方式	一 括、 <u>一問一答</u>
答弁を求める者	市 長、教育長

【件名及び発言の要旨】

1 神奈川県基地関係県市連絡協議会の退会について

- (1) 今後、本市独自でどのような行動を起こされるお考えか。
- (2) 神奈川県基地関係県市連絡協議会（以下、県市協）を退会した以上、当然のことながら、日米地位協定が本市に与える影響を独自で整理していただけるものと考えている。異存はないか。
- (3) 現在のコロナ禍の状況では同協定の改定よりも運用改善を図ったほうが効果的と考えているだけで、長期的には同協定の改定を求める本市の姿勢に変更はないと理解していいか。
- (4) 要望書の記載内容に納得がいかないならば、変更を提起するのが先で、押し切られた場合に、ようやく退会するのが大人の対応だ。内容変更は提起したのか。
- (5) 56年間一緒に歩んできた仲間の交渉力がそがれることについて、他の9自治体に事前にどのように説明していたのか。
- (6) 同協定の改定を求めることと、米軍や国と協力することが、相反するかのような発言について伺う。
 - ア 米軍は、県市協の要望書をホームページで見てチェックしていて、横須賀市の名前があると、かたくなな態度を取ってくる

のか。

イ 国に対して、過剰な付度をしているのではないか。もし、相反するのであれば説明されたい。

- (7) 事前に議会報告、報道発表などによる市民周知など、丁寧な合意形成のプロセスを踏まなかったのはなぜか。
- (8) 先日の、「そっと抜ければいい」旨の答弁は批判を恐れたとも受け取れる。市長の考えを伺う。
- (9) 県市協の会員中、幾つかの市は県市協の要望とは別に市独自の要望を国に対して提出している。同様に本市も、県市協の枠組みに残りつつ、市独自の交渉や要望はできた。県市協の何が悪かったのか。
- (10) 外部からの働きかけがあったのか。あったとすれば誰か。あるいは、職員から提案があったか。
- (11) 歴史的経緯や先人の歩みへの敬意を払うことは大切だと考える。市長の認識を伺う。

2 教育委員会の在り方について

- (1) 教育委員会の意思決定について、教育長に伺う。
 - ア なぜ教育委員会を招集せずに、一斉休校という重要なことを独断で決定したのか。
 - イ 教育委員の方々は招集がなく一斉休校が決定されたことに対し何らかの異議申立てなどをなされたのか。
- (2) 学校の意思決定について、教育長に伺う。
 - ア 市立学校 72 校中何校が、卒業式の実施方法について P T A もしくは学校評議員の意見を聴取する場を設けたのか。
 - イ 同様に何校が、修学旅行の実施可否について P T A もしくは学校評議員の意見を聴取する場を設けたのか。
- (3) 教育委員会の広聴機能について、教育長に伺う。

- ア 教育委員会として広聴をしたことはあるか。
- イ 市PTA協議会との意見交換会を開催しているか。
- ウ 教育委員は、どのように保護者や生徒の考えを把握しているのか。
- エ 陳情制度以外の広聴制度を設けることについてどうお考えか。

3 2025年問題に対応する地域包括支援センター拡充について

- (1) 2025年問題に対応すべく、最前線で地域福祉を担う地域包括支援センターの体制を強化するため、全中学校区23か所に公設民営方式で同支援センターを設置してはどうか。